

平成 26 年度 地域包括ケアシステム推進事業の概要

H26. 6. 3

長岡市

1. 協議会の設置 … 資料 5-1 (3 頁)

平成 25 年度に開催した「地域包括ケアシステム推進懇談会」の枠組みをベースにメンバーを拡充して、「地域包括ケア推進協議会」を設置します。

今年度は、年 4 回の開催を予定しています。

○第 1 回…5 月 16 日(金)、第 2 回…8 月下旬、第 3 回…10～11 月、第 4 回…1～2 月

2. 在宅ケアに関する実態調査 … 資料 5-2 (5 頁)

在宅ケア推進の基礎資料とするため、在宅ケアに関するニーズ調査や、サービス提供側の実態調査を行います。

地方自治研究機構の共同調査研究事業の採択を受けることができましたので、機構と共同で調査を進めます。

○地図システムを活用し、結果を“見える化”します。

○専門部会の位置づけで委員会を設けて、取り組みを進めます。

○第 1 回委員会…5 月 26 日(月)、第 2 回…10 月頃、第 3 回…1 月頃

3. 栃尾・小国地域でのタブレット活用モデル事業 … 資料 5-3 (7 頁)

栃尾・小国地域において、タブレットを活用した情報共有により、在宅医療を多職種で支えるモデル事業に取り組みます。

この事業により、タブレットを活用した情報共有の有効性の検証や、在宅医療の課題の洗い出し等を行います。

○小国地域での説明会…5 月 20 日(火)

4. 先進自治体の視察・各種研修会への参加

協議会メンバーや医師会等との合同で、千葉県柏市（医師会と行政が協働で在宅医療・医療介護連携を推進）の取り組みを視察します。

関係課職員で国・県等の研修会に参加し、介護保険制度の見直し等、地域包括ケアシステムに関する最新動向を把握します。

○柏市の視察…10 月 5 日(日) ※日帰り(貸切バス)

5. 多職種連携に向けた勉強会

多職種の連携に向け、先進的な取り組みを学びながら、顔の見える関係づくりを進めるため、多職種での勉強会を開催します。

- 先進地などの講師による講義・事例発表や、グループワークを行います。
- 各団体の希望をお聴きするほか、各団体が実施する研修会等とのタイアップ（運営は団体、経費負担は市）も検討します。

6. 認知症対策の推進 … 資料 5-4 (9 頁)

従来から行ってきた認知症サポーター養成講座や認知症地域フォーラムのほか、「認知症の人と家族の会」の活動支援や、「タッチパネル式スクリーニング機器」の活用による早期発見・早期診療に向けた取り組み等を推進します。

- 専門部会の位置づけで推進会議を設けて、取り組みを進めます。
- 第 1 回推進会議…6 月 2 日(月)

7. 多職種が連携した地域ケア会議 … 資料 5-5 (11 頁)

個別ケースのケアプランについて、専門多職種（医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士等）が連携し、それぞれの専門性を生かしてアドバイスする、地域ケア会議の運営を開始します。

- 平成 26 年度はモデル圏域（包括なかじまエリア）のケースを中心に実施します。
（地域ケア会議は年 5 回の開催を予定）
- 第 1 回…7 月 16 日(水)、第 2 回…9 月 17 日(水)、第 3 回…11 月 19 日(水)、
第 4 回…1 月 21 日(水)、第 5 回…3 月 18 日(水)
- 平成 27 年度の全市展開に向け、検討会を設けて、準備を進めます。
（検討会は年 5 回の開催を予定）
- 第 1 回…6 月 2 日(月)、第 2 回…7 月 16 日(水)、第 3 回…10 月、
第 4 回…1 月 21 日(水)、第 5 回…2 月

地域包括ケア推進協議会の設置について

H26. 6. 3

地域包括ケアシステムの推進に向け、平成 25 年度に、医療・介護などの関係者との懇談会を計 3 回開催し、本市における現状や課題について、意見交換を行いました。

平成 26 年度は、この懇談会の枠組みをベースにメンバーを拡充して、「地域包括ケア推進協議会」を設置し、地域包括ケアシステムの推進に向けた検討を進めるとともに、可能なところから具体的な取り組みをスタートします。

1 協議会メンバー

所属	職名	氏名	備考
長岡市医師会	会長	太田 裕	会長
	副会長	長尾 政之助	
	ほんだファミリークリニック	本田 雅浩	
長岡地域救急懇談会	長岡赤十字病院 救命救急センターセンター長	内藤 万砂文	
三島病院認知症疾患医療センター	センター長	森田 昌宏	
長岡歯科医師会	会長	鞍立 暁則	副会長
長岡市薬剤師会	会長代行	佐藤 宏之	
県栄養士会長岡支部	支部長	小乗 スイ子	
県歯科衛生士会中越地区	介護予防担当	風巻 優子	
県訪問看護ステーション協議会	理事（中越）	鈴木 久美子	
県理学療法士会	長岡地区担当理事	目崎 保	
県作業療法士会長岡支部	支部長	高橋 一彰	
高齢者総合ケアセンターこぶし園	総合施設長	小山 剛	副会長
長岡三古老人福祉会	法人総務局長	小林 啓一	
長岡地域介護支援専門員協議会	会長	渡邊 一枝	
長岡市社会福祉協議会	事務局長	中村 清	
県長岡地域振興局 地域保健課	参事・課長	藤原 洋子	
長岡市 福祉保健部	部長	水澤 千秋	
長岡市 福祉総務課	課長	成田 高史	
長岡市 介護保険課	課長	渡辺 修	
長岡市 長寿はつらつ課	課長	河田 誠	
長岡市 健康課	課長	木元 実	
長岡市 住宅施設課	課長	安部 和則	

(事務局：長岡市 長寿はつらつ課)

2 年間スケジュール

- ・ 第1回協議会 … 5月16日（金）午後1時30分～
- ・ 第2回協議会 … 8月下旬
- ・ 第3回協議会 … 10月～11月
- ・ 第4回協議会 … 1月～2月

【参考：平成25年度の懇談会で出された主な意見】

● 副主治医制の検討

- ・ 退院時に入院前の主治医のところに必ず戻し、在宅専門の医師を副主治医として選び、複数体制をとるシステムを導入してはどうか。
- ・ 都市部と周辺部では状況が異なる。それぞれスタイルを決めて、主体や、何人の医師が必要で、副主治医が何人いれば機能するのか、等も想定した検討が重要では。

● 訪問看護を中心とした医療・介護の連携

- ・ 規模の大きい訪問看護ステーションが中心となり、訪問看護、医師、介護が連携して、チームで24時間のサポートを行う体制づくりを進めてはどうか。
- ・ 病院の訪問看護ステーションも含めたシステムとすることが望ましい。

● 在宅での看取りに向けた環境づくり

- ・ 在宅での看取りをスムーズにするためには、医師同士、開業医と病院等の連携を進めることが必要。
- ・ 開業医、病院、消防、警察等の関係者が集まり、何ができるのか、本音で話せる場の設定が重要では。

● 情報の共有化・ICTの活用

- ・ 一定の医療圏の中での情報共有を検討するべきでは。
- ・ 医療情報・カルテの共有化をどう進めていくか。
- ・ ICTの活用を検討。特に中山間地域では、ICTの活用は有効。

● 多職種連携に向けた顔の見える関係づくり

- ・ 多職種がチームとして取り組むためには、顔の見える関係づくりが大事。

● 在宅医療のニーズの把握

- ・ 一人暮らし、老老世帯といった最優先の方や、介護者がいても医療的な考慮が必要な人が、どれくらいいて、どのような状況なのか把握することが重要。

● 口腔・栄養など予防的支援のあり方

- ・ 口腔機能は全身に影響しており、口腔ケアにより食べ物をきちんと食べることで大きな効果がある。高齢期の健康水準は、壮年期の健康水準によるため、予防的な支援が重要。

在宅ケアに関する実態調査について

H26. 6. 3

在宅ケア推進の基礎資料とするため、平成26年度、医師会やケアマネジャー等と協力しながら、在宅ケアに関する実態調査を行います。

この調査については、地方自治研究機構の共同調査研究事業に応募し、採択を受けることができましたので、機構と共同で調査を進めます。

1 地方自治研究機構の共同調査研究事業

一般財団法人地方自治研究機構は、全国の地方自治体が対応を迫られる共通の諸課題について、調査研究や法制執務の支援、情報提供などを行っています。

共同調査研究事業に採択されると、機構が総事業費の6割相当を負担し、地元市町村と共同で調査研究を行います。

2 調査内容（詳細は今後調整）

以下の内容をベースに、協議会の専門部会の位置づけで設置する委員会において、調整していく予定です。

① 在宅ケアに関するニーズ調査

- ・ 医療的ケア、口腔ケア、服薬管理、栄養指導、リハビリ指導、認知症等の各分野で、在宅ケアの必要な方が、どこに、どれくらいいるのか。どんな状況なのか。今後どのように変わっていくと見込まれるのか。等について調査する。
- ・ 調査結果を地図上に落とし込む。（地図システムを活用）

② 医療・介護資源等の状況調査

- ・ 病院・診療所、歯科医院、薬局、訪問看護等の医療資源が、どこに、どれくらいあるのか。訪問の有無、スタッフ体制、カバーエリア等は、どんな状況なのか。等について調査する。
- ・ 介護サービス事業所（サービス別）が、どこに、どれくらいあるのか。在宅対応が可能な歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士等が、どのくらいいるのか。等について調査する。
- ・ 調査結果を地図上に落とし込む。（地図システムを活用）

③ 地域包括ケアシステムの地域別方向性に関する調査研究

- ・ 上記①～②の結果を重ね合わせ、地域ごとの課題等を“見える化”する。
- ・ その結果をベースに、合併旧市町村エリア・日常生活圏域ごとに、めざすべき地域包括ケアシステムの姿、方向性について、調査研究を行う。

3 委員会メンバー

共同調査研究事業の仕組みとして、委員会を開催する必要があるため、協議会の専門部会の位置づけで、調査に関する委員会を組織するものです。

所属	職名	氏名	備考
長岡市医師会	副会長	長尾 政之助	委員長 (※)
	事務局	野本 厚子	
長岡歯科医師会	専務理事	神成 庸二	
長岡市薬剤師会	会長代行	佐藤 宏之	(※)
県栄養士会長岡支部	支部長	小栗 スイ子	(※)
県訪問看護ステーション協議会	理事 (中越)	鈴木 久美子	(※)
長岡地域介護支援専門員協議会	会長	渡邊 一枝	(※)
長岡市社会福祉協議会 介護サービス課	課長	丸山 和浩	
長岡赤十字病院 地域連携サポートセンター	副センター長・看護師長	小林 洋子	
地域包括支援センター基幹型	業務推進員	丸山 千代子	
	認知症地域支援推進員	河鱈 和美	
県長岡地域振興局 企画調整課	課長代理	野澤 真理子	
地方自治研究機構	事務局長	藤田 萬豊	
長岡市 長寿はつらつ課	課長	河田 誠	(※)

(注) 備考欄の「(※)」は地域包括ケア推進協議会の委員

4 スケジュール (予定)

- ・ 第1回委員会 … 5月26日 (月) 午後1時30分～
- ・ 第2回委員会 … 10月頃
- ・ 第3回委員会 … 1月頃
- ・ 報告書の確定 … 2月末
- ・ 報告書の印刷完了 … 3月中旬

栃尾・小国地域でのタブレット活用モデル事業について

H26. 6. 3

長岡市では、栃尾地域、小国地域において、タブレットを活用した情報共有により、在宅医療を多職種で支えるモデル事業に試行的に取り組みます。

この事業により、タブレットを活用した情報共有の有効性の検証や、在宅医療の課題の洗い出し等を行います。

1 実施内容

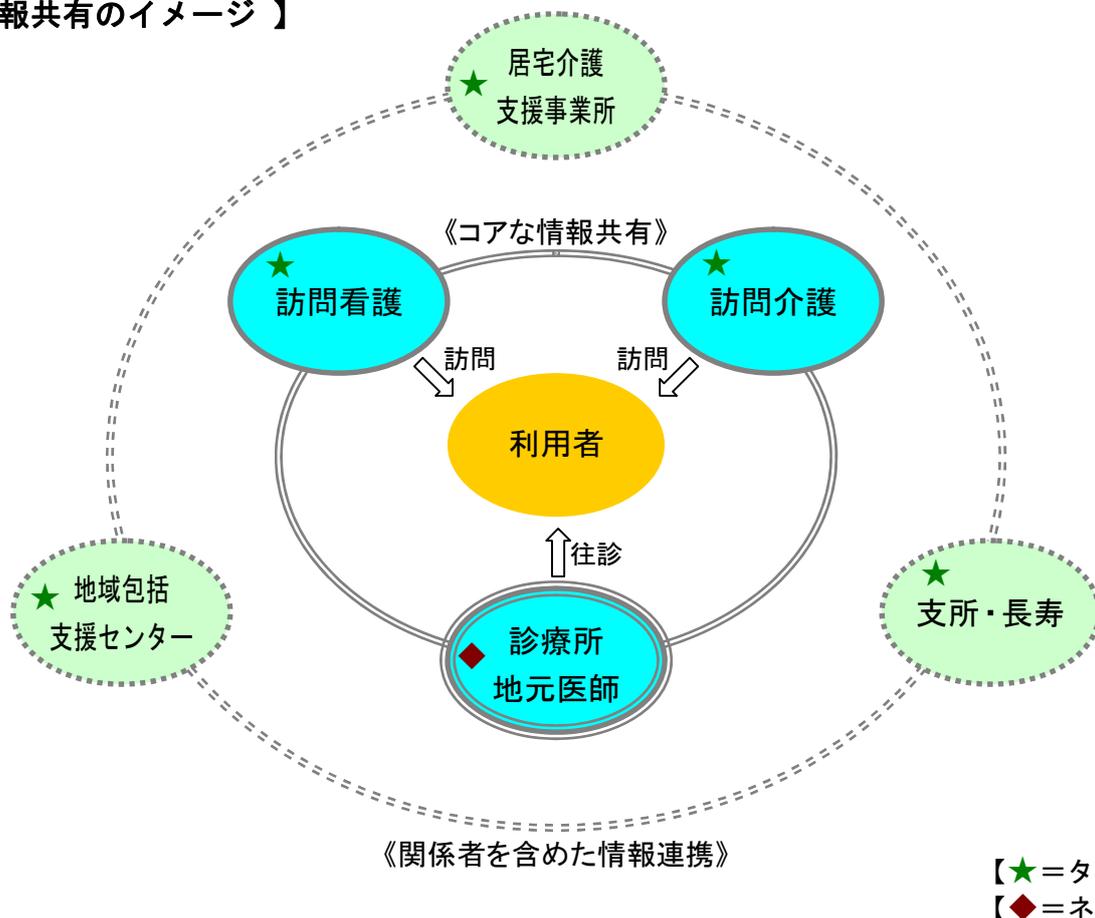
診療所・地元医師、訪問看護ステーション、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所（ケアマネ）、地域包括支援センター等の関係者が、タブレットにより訪問時の情報を共有し、診療や在宅ケアに生かす取り組みを試行的に行います。

【新潟県在宅医療連携モデル事業(H26～27)を活用】

2 対象となる高齢者

医師の往診を受けており、訪問看護、訪問介護 等が入っている方

【 情報共有のイメージ 】



3 実施期間

平成 26 年度～27 年度（2 年間） ※26 年度は準備の整った地域からスタート

4 導入するシステム

スキルアップジャパン(株) 「けあふる君」

※ 経済産業省の事業により開発されたシステムです。

平成 24 年度に、厚生労働省の「在宅医療連携拠点事業」で、こぶし訪問看護ステーションが当該システムを活用した医療・介護の連携事業を実施しました。この取り組みは、厚生労働省から、全国モデルとして広く紹介されています。

5 今後の予定

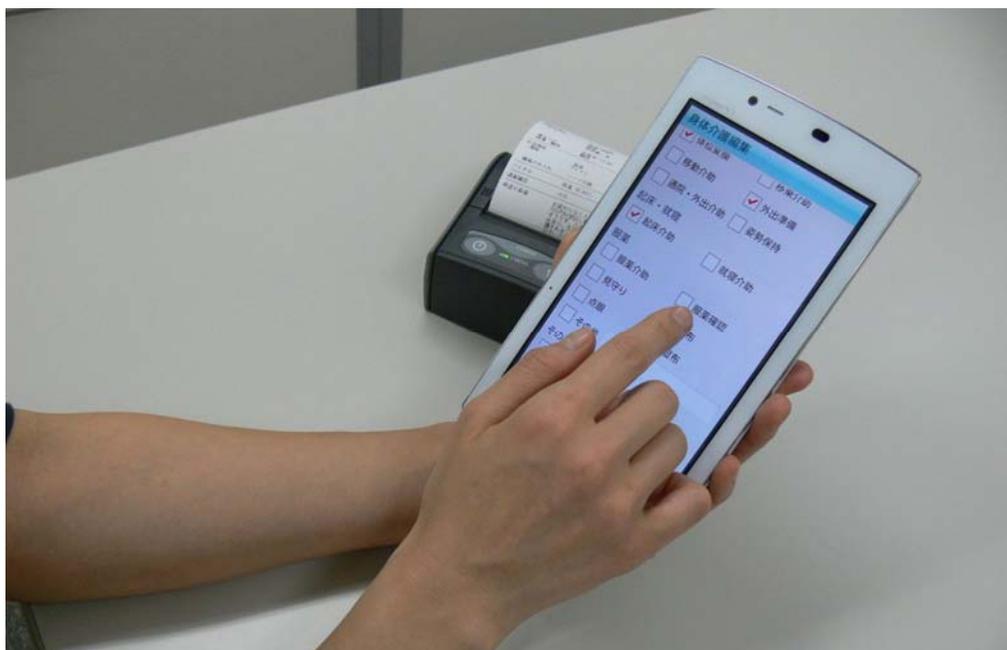
(1) 小国地域

- ・説明会の開催 … 5 月 20 日（火）午後 4 時～
- ・各事業所ごとに操作説明・セットアップ … 6 月
- ・運用スタート … 7 月

(2) 栃尾地域

- ・関係者への協力依頼 … 5 月～6 月中旬
- ・説明会の開催 … 6 月下旬
- ・各事業所ごとに操作説明・セットアップ … 7 月
- ・運用スタート … 8 月

【 使用するタブレット 】



認知症対策の推進について

H26. 6. 3

従来から行ってきた認知症サポーター養成講座や認知症フォーラム等の各事業に取り組むほか、認知症地域支援推進員を配置し、「認知症の人と家族の会」の活動支援や、「タッチパネル式スクリーニング機器」の活用による早期発見・早期診療に向けた取り組み等を推進します。

1 認知症対策推進会議の開催

協議会の専門部会の位置づけで、関係団体等の代表者による推進会議を開催し、認知症対策全般の協議を行います。

今年度は年4回の開催を予定しています。

○第1回…6月2日(月)、第2回…9月頃、第3回…12月頃、第4回…3月頃

2 認知症地域支援推進員の配置

平成26年度から、地域包括支援センター基幹型に認知症地域支援推進員1名を専任配置し、関係機関のコーディネートや認知症対策事業を推進します。

3 早期発見・早期診療の取り組み

手軽に使用できる「タッチパネル式認知症スクリーニング機器」を導入します。この機器を活用しながら、早期発見・早期診療に向けた取り組みを進めます。

4 家族支援事業

(1) 家族の集い支援事業

「認知症の人と家族の会 長岡エリア」の活動支援を行い、家族の身近な相談機関としての機能強化を図るとともに、「認知症カフェ」としての運営基盤の整備を進めます。

(2) 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業

認知症の人を介護する家族の外出・休息支援として、やすらぎ支援員を派遣し、家族に代わって見守りを行います。

やすらぎ支援員の不足している地域を中心に、新規養成研修を行い、人材の確保とスムーズな事業運営を図ります。

5 普及啓発事業

(1) 認知症サポーター等養成事業

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成します。

平成 26 年度は、講師役である認知症キャラバン・メイトを組織化し、協働で事業を構築する仕組みづくりに取り組みます。

(2) 認知症フォーラム in 長岡

市民参加型フォーラムの開催により、関心者層を拡大し、認知症に関わる人・団体の輪を広げます。(9月の世界アルツハイマー月間に併せて開催する予定。)

6 多職種連携研修の開催

認知症ケア従事者の資質向上や、地域での顔の見える関係づくりを目的に、包括圏域単位で実施します。(平成 25 年度は包括なかじま圏域で実施。)

7 その他の検討事項

認知症施策推進 5 か年計画(オレンジプラン)の推進に向け、認知症ケアパスや、認知症初期集中支援チーム等について検討します。

【 認知症対策推進会議メンバー 】

所属	職名	氏名	備考
三島病院 認知症疾患医療センター	センター長	森田 昌宏	議長 (※)
三島病院 精神科	部長	田中 晋	
長岡市医師会	副会長	長尾 政之助	(※)
長岡地域介護支援専門員協議会	理事	松浦 正子	
認知症キャラバン・メイト コアチーム	チームリーダー	池田 貴夫	新
新潟県グループホーム協議会	施設管理者	伊藤 裕美	新
新潟県小規模多機能型居宅介護協議会	施設管理者	清水 直樹	新
県長岡地域振興局 (長岡保健所)	主査	竹内 正喜	新
認知症の人と家族の会	長岡エリア世話人	神保 みゆき	
	長岡エリア世話人	中村 興弥	
地域包括支援センター基幹型	認知症地域支援推進員	河鱈 和美	
	業務推進員	丸山 千代子	
長岡市 長寿はつらつ課	課長	河田 誠	(※)

(注) 備考欄の「(※)」は地域包括ケア推進協議会の委員

地域ケア会議について

H26. 6. 3

これからの超高齢社会を支える地域包括ケアシステムを実現する手段として、国では第6期の介護保険計画に地域ケア会議の実施を義務付けています。

長岡市では、平成26年度から、専門多職種（医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士等）とケアマネジャー等が協働してケアプランを検討する地域ケア会議を開催します。

- 個別ケースの支援を通して、自立支援のケアマネジメントの実践力を高めるとともに、地域の課題を発見し、市の施策へとつなげていくことを目的とします。
- 専門多職種の連携によるネットワークを構築します。
- 平成26年度は要支援者で地域包括支援センターなかじま圏域のケアプランを中心に検討しますが、次年度以降、検討対象を拡大していく予定です。（全市域の地域包括支援センター圏域や要介護者を含むケアプラン）
- 地域ケア会議関係者と会議の運営形式や次年度以降の方針について決定するために検討会を設置します。

1 地域ケア会議

① 地域ケア会議のメンバー

- ・アドバイザー
（医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士）各1名
- ・ケアマネジャー、介護サービス提供事業者
- ・その他関係機関職員
- ・地域包括支援センター職員 市内11包括の3職種の内6名
- ・介護保険課、長寿はつらつ課職員 3名

② 内容

要支援1・2の認定を受けた人のケアプランについて、対象者の状態に関する資料に基づいて、専門多職種がアドバイスをを行い、ケアマネジャーや介護サービス提供事業者と協働して、自立支援に資するケアマネジメントを行います。1ケース30分の検討とし、1回の会議で最大5ケース（合計2時間30分）の検討を予定しています。

③ 開催日時

7月、9月、11月、1月、3月の第3水曜日（5回実施）
午後1時30分から午後4時まで
（7月16日、9月17日、11月19日、1月21日、3月18日）

④ その他

10月に市内介護事業所向けに地域ケア会議説明会を開催する予定です。

2 検討会

① 検討会委員

所属	職種等	氏名	備考
長岡市医師会	医師	本田 雅浩	
長岡歯科医師会	歯科医師	(調整中)	
長岡市薬剤師会	薬剤師	佐藤 宏之	猪浦 了
県栄養士会長岡支部	管理栄養士	小林 裕美子	吉原 緑 福田 緑
県歯科衛生士会中越ブロック	歯科衛生士	中村 由佳理	佐藤 則子 大川 玉枝
県理学療法士会	理学療法士	棚橋 泉	安達 千佳子 大橋 美和
長岡地域介護支援専門員協議会	ケアマネジャー	渡邊 一枝	
	ケアマネジャー	丸山 和浩	
	ケアマネジャー	川上 直子	
長岡市地域包括支援センター	主任ケアマネジャー	丸山 千代子	
	保健師(看護師)	河鱈 和美	
	社会福祉士	廣川 裕子	
あらまちデイサービスセンターらくらく	介護サービス提供事業者	小網 春香	
長岡市社会福祉協議会 介護サービス課	介護サービス提供事業者	溝口 裕香理	

(注) 太枠内は地域ケア会議アドバイザー。備考は副担当(都合がつかない場合の代理)。

② 検討内容(予定)

- 6月 モデル圏域におけるケア会議運営形式、今後の計画等
- 7月 ケア会議の振返りと運営形式、周知・啓発について等
- 10月 地域ケア会議説明会準備等
- 1月 7月ケース検討から半年後プランの検討等
- 2月 次年度以降の方針

③ 開催日時

6月2日(月)、7月16日(水)、10月、1月21日(水)、2月

※7月と1月は地域ケア会議開催後に開催します。